



Tohoku University DRR Actions
Contributing to Global Disaster Resilience

「縁側で『こんにちは』」プロジェクト — 共有・共感・共生空間の創生 — について

第3回 国連防災世界会議
パブリック・フォーラム

2015.3.15 12:15~13:50

仙台市民会館 会議室1 (定員50名, 先着順)

URL: <http://drr.tohoku.ac.jp/archives/653>
<http://blog.goo.ne.jp/engawa2011>

東北大学大学院文学研究科
責任者: 名嶋義直 (日本語教育学)





仮設住宅で新しい生活を始めることになった，そう考えてみて下さい。周りは知らない人ばかりです。はやく生活に慣れていくには見知らぬ人との間に関係性を作っていかなければなりません。とはいえ，それは想像以上に大変なことではないでしょうか。

もしその仮設住宅に昔の縁側があったらどんなことが起こるでしょうか。そこに座ってお茶を飲んでいたら，通りかかった人と何か話すきっかけが生まれるのではないのでしょうか。お茶やお菓子があれば「お茶でも飲んでいかない？」と気軽に声をかけることができるのではないのでしょうか。

「縁側で『こんにちは』」プロジェクトはそんなコミュニケーションを誘発する空間を作る取り組みです。今日は，このプロジェクトが何を目指し何を行ってきたのか，行政とどのような連携を行ってきたのかについて，取り組み責任者や名取市社会福祉協議会，学生ボランティアが話をします。それを通して，一般市民が「防災・減災・復興のまちづくり」に関わっていく一つの方法を提示したいと思います。

名嶋義直(東北大学 大学院文学研究科 教授)